

2023年2月27日

各位

株式会社三井住友銀行

いちご株式会社へのシンジケーション形式による
「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の組成について

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）（以下、「三井住友銀行」）は、いちご株式会社（代表執行役社長：長谷川 拓磨）に対し、シンジケーション方式の「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」を組成致しました。

「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」は、企業の事業活動が環境・社会・経済にもたらすインパクト（ポジティブな影響とネガティブな影響）を包括的に分析・評価し、サステナビリティ経営の実現に向けた活動を継続的に支援することを目的とした融資です。

三井住友銀行は、ポジティブ・インパクト・ファイナンスにおけるインパクトの測定及び管理の高度化のためのツール「SMFG PIF Impact Finder」（以下、「本ツール」）（※1）を開発し、本案件の取組より運用を開始しました。

なお、本ツールを活用した三井住友銀行のポジティブ・インパクト・ファイナンスの運営体制について、ポジティブ・インパクト金融原則（※2）に適合する旨のセカンドオピニオンを第三者評価機関である株式会社格付投資情報センター（代表取締役社長：山崎 宏）より取得しています（※3）。

SMBC グループでは 2021 年 7 月 27 日に「SMBC Group GREEN Innovator」のコンセプトを公表し、社会のサステナビリティをお客さまとともに実現するためのサービス・商品の提供に一層注力してまいります。また、三井住友銀行では、お客さまのサステナビリティ経営に向けたソリューションの提供や対話を行い、持続可能な社会及び市場の形成にも一層貢献を行ってまいります。

〈重点取組項目及び評価指標〉

重点取組項目		評価指標	関連するSDGs
地球環境保全への 貢献と環境負荷の 低減	環境との調和及び 省エネルギー、 低炭素化と資源循環 の推進	<p><目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・2025年12月までに事業活動で消費する電力を100%再生可能エネルギーとする ・グループ全体のクリーンエネルギー事業の推進 ・CDP 気候変動スコアリーダーシップレベル以上を維持 <p><評価指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・再エネ導入率 ・グループ全体のクリーンエネルギー事業における再生可能エネルギー年間発電量、CO₂削減量 ・CDP 気候変動スコア 	 
	環境負荷の低減、 建築物の保全	<p><目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・心築事業を通じた現存不動産の価値向上、地域活性化への貢献 <p><評価指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・心築事業における現存不動産の価値向上、地域活性化に貢献する取組状況 	 
良好な組織風土の 醸成と多様な人材 の育成	健全な職場環境の 維持・向上	<p><目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・出産後復帰率100% ・シーズン休暇取得率100% ・いちごエンゲージメントサーベイの取組を通じた健全な職場環境の維持、向上 <p><評価指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・出産後復帰率 ・シーズン休暇取得率 ・いちごエンゲージメントサーベイの取組状況 	 
	従業員への教育、 啓発活動の推進	<p><目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人財教育制度企業内大学「いちご大学」の年20講座以上の開講 	

		<ul style="list-style-type: none"> ・（外部講師も含めた）「いちご大学」講義内容の充実 ・PROPERA、スポーツ事業等の新規事業の積極的な推進 <p><評価指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人財教育制度企業内大学「いちご大学」延べ受講者数、外部講師招聘等の講義内容 ・PROPERA、スポーツ事業等の新規事業に関する取組状況 	 
法令適応と環境管理体制の整備	コンプライアンスの遵守・リスクマネジメントの強化	<p><目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンスに関する1回/年の研修、役職員による「行動規範コンプライアンス表明書」の提出 <p><評価指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンスに関する研修、役職員による「行動規範コンプライアンス表明書」の提出状況 	
	ステークホルダーとのパートナーシップの強化	<p><目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いちご和敬会」の活動促進 ・テナント向けアンケートの実施 <p><評価指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いちご和敬会」の活動状況 ・テナント向けアンケートの実施状況 	 

<ご参考>

※1 SMFG PIF Impact Finder とは

三井住友銀行がグループ内シンクタンクの株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教、以下「日本総研」と連携し、お客さまの事業におけるインパクト特定や、評価指標の設定・モニタリングの管理サポートするツール「SMFG PIF Impact Finder」（以下、「本ツール」）（※1）を開発しました。本ツールは、「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」で一般的に活用されている UNEP FIⁱ（国連環境計画・金融イニシアティブ）のインパクト分析ツールに加え、SASBⁱⁱ（米国サステナビリティ会計基準審議会）等の公開情報、日本総研における ESG 評価の知見を反映し、お客さまの業種特性を踏まえたインパクトの特定や評価指標事例等の自動抽出を行う機能を備えており、お客さまとの円滑なエンゲージメントに活用するものです。

※2 ポジティブ・インパクト金融原則とは

SDGs の達成に向け、金融機関が積極的な投融資を行うための原則として、2017 年 1 月に国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）により策定されたものです。資金提供先企業のネガティブな

影響を軽減し、現実的かつ信頼性のある方法でポジティブな影響を高めるための資金提供のあり方を定めており、「定義」、「枠組み」、「透明性」、「評価」の4つの原則で構成されています。

※3 株式会社格付投資情報センターホームページ参照

[サステナビリティファイナンス | 信用格付関連 | 格付投資情報センター \(r-i.co.jp\)](#)

ⁱ UNEP FI : UNEP (国連環境計画) とおよそ 200 以上の世界各地の銀行・保険・証券会社等と広範で緊密なパートナーシップ

ⁱⁱ SASB (Sustainability Accounting Standards Board) : 企業の情報開示の質向上に寄与し、中長期視点の投資家の意思決定に貢献することを目的に設立された非営利団体

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。
--